

# 大学院特別講義のご案内

- ◆ 日時： 2022年10月25日 17:30-19:00
- ◆ 場所：大講義室
- ◆ 講師：東京歯科大学歯科矯正学講座 主任教授  
西井 康 教授

- ◆ 演題：「外科的矯正治療から見てきたもの」



要旨：矯正治療において、最も困難であると言われるものの1つにⅡ級外科症例が挙げられます。Ⅱ級外科症例は、各施設とも症例経験が少なく、またⅡ級のバリエーションも大きいため定型的な治療が確立されにくいのが現状です。このため、Ⅱ級外科症例の顔面形態の特徴、治療目標の設定、顎矯正手術の選択および安定性について考慮する必要があります。

また近年、アンカースクリューの登場により外科的矯正治療の適応範囲も従来と異なります。このため、顎矯正手術の術式においては、基本的な術式の特徴を把握してからオーダーする必要があります。そして最も問題となる事項が、術後の安定性であり、しばしば後戻りに悩まされます。また、同じⅡ級外科症例でも顔面形態、下顎骨形態、顎関節の状態によりその安定性に差異があるのが実感します。

本講演では、上記の問題点を考慮に入れ、分析、治療計画の立案・治療ゴールの設定、アンカースクリューの診断における影響、術後の安定性についての評価と関連研究および将来的な展望についてご講演したいと存じます。

問い合わせ先：（顎顔面口腔矯正学教室 山城・黒坂 内線2958）